

## 清須市子ども・子育て支援事業計画の策定の考え方について

## 計画策定における考え方

1 清須市次世代育成支援行動計画後期計画  
(平成22年3月策定)

## [基本理念]

時代を創る次世代が輝くまち きよす

## [基本目標]

- 『地域』における子育て支援の推進
- 子どもの『生きる力』の育成
- 『家庭』における子育てと社会活動の両立支援
- 妊娠・出産から生涯にわたる『健康』づくり
- 『安心・安全』のまちづくり

## 2 国が示す子どもを取り巻く社会的動向

- ・急速な少子化の進行
- ・結婚・出産・子育ての希望がかなわない現状
- ・子ども・子育て支援が質・量ともに不足
- ・子育ての孤立感と負担感の増加
- ・待機児童問題
- ・放課後児童クラブなど、子どもの居場所問題

3 子ども政策に関する国の動向  
(子ども子育て支援新制度)

子ども・子育て関連3法(平成24年8月成立)

- ①質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
- ②保育の量的拡大・確保
- ③地域の子ども・子育て支援の充実

## 4 清須市の現状

- ・年少人口はほぼ横ばいで推移。(出生数は700人から750人)
- ・待機児童は、平成21年度からゼロである。
- ・夢の森保育園の統廃合や西枇杷島第2幼稚園を保育園化(子育て支援センター開設)し、保育園・幼稚園の適正配置を推進している。
- ・放課後児童クラブは、市内8小学校区全てに設置。
- ・放課後子ども教室は、市内8小学校のうち、4小学校で実施しているが、他は未実施である。

5 総合計画における子ども・子育て施策の位置付け  
(平成24年～平成28年)

## [将来像]

少子化対策・児童福祉・母子(父子)福祉の充実  
子どもが健やかに育ち、子育てに夢がもてるよう、ニーズに応じた保育サービスの充実や出産・子育てに関する相談支援体制の充実に努め、子育てに対する経済的負担の軽減を目指します。また、母子(父子)家庭の日常生活や母子家庭の母の就労を支援し、総合的に自立促進を図ります。

## 6 計画策定の背景及び策定の基本的な考え方

子どもたちが健やかに育ち、子育てに夢が持てるよう、これまでの教育・保育の状況からニーズの動向を分析するとともに、新たにニーズ調査を実施し、市民の真のニーズを的確に把握する。その結果に基づき、子どもにとって最善の利益が実現される社会をめざし、子ども・子育て支援に関する質・量ともに支援の充実が図られる事業計画の策定を行う。

また、平成22年3月に作成した「清須市次世代育成支援行動計画(後期計画)」を引き継ぐものとして、計画の評価・検証を行い、社会全体で子育て世代を支援していく。

## 7 計画策定における調査及び計画の視点

- ①清須市次世代育成支援行動計画(後期計画)の進捗状況と課題の整理及び理念等を踏襲した計画の策定
- ②早期に取り組むべき重点課題の明確化
- ③教育・保育提供区域の設定
- ④各年度における幼児期の学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の見込みと提供体制の確保の内容、実施時期の検討
- ⑤公私立を踏まえた保育園と幼稚園の適正配置の検討

## 作業スケジュール

平成25年9月下旬～  
事業計画策定のためのニーズ調査の実施

平成25年10月～12月  
ニーズ調査の入力・集計・分析

平成25年12月～平成26年1月  
ニーズ調査報告書の作成

平成25年12月～平成26年2月  
事業の見込みと確保策の検討

平成26年2月～7月  
子ども子育て支援事業計画策定

平成26年9月  
計画案を愛知県へ報告

平成26年10月～平成27年2月  
計画内容最終調整

清須市  
子ども・子育て支援事業計画  
(平成27年度～平成31年度)